



インフォ・マート

Info Mart

(自主公演のチケットのお求め・お問合せはこちらへ) 04-2998-7777 | <https://www.muse-tokorozawa.or.jp>

vol. 116

平原綾香

平原綾香と開くクラシックの扉コンサート2022

▼ P1

所沢ミューズを愛してやまない伝説の巨匠!
クリスマスチャン・ツイエルマン「ピアノ」

▼ P3

ホールオルガニスト

原田真侑 presents

▼ P5

「愛をめぐる音楽たち」





平原綾香

平原綾香と開くクラシックの扉コンサート2022

2003年に「Jupiter」でデビュー以来、抜群の歌唱力と豊かな音楽性で注目を浴びる平原綾香。日本を代表する名歌手がフルオーケストラと共にアークホールに登場する！ 壮大な管弦楽の響きによる平原綾香のヒット曲とクラシックの名曲をお楽しみいただく贅沢なひととき。その魅力を平原綾香自身のインタビューを交え特集する。

大学生でデビュー！
「Jupiter」が大ヒット

祖父、父がミュージシャンという音楽一家に生まれた平原綾香。小学校からクラシックバレエを習い、中学のブラスバンドではサクソスを手にする。高校ではクラシックのサクソスを専攻するが、大学に進学するとジャズ科に転向。「楽しいながらも毎日必死に音楽の勉強を続けていた」という。

専攻はサクソスだったものの、ずば抜けた歌唱力と美しい歌声もすでに注目を集めるようになっていた平原綾香は、大学1年生の2003年12月、クラシックの名曲であるホルストの「木星」の旋律を印象的に用いた「Jupiter」で歌手デビューを果たす。このCDの大ヒットにより仕事（歌手）と大学（サクソス）の両立に多忙を極めるようになり、特にCDのレコーディングなどの際には、大学のサクソスの練習まで手が回らず「レッスンで悔し涙を流した」こともあったという。そんな苦しいときの大切な息抜きが大学での仲間たちとの時間だった。「仲間たちと通称『4階』と呼ばれるスペースに集まり、楽しい時間を過ごしました。卒業する際の課題である作曲（アレンジ）作品のタイトルはズバリ『4階！』友人との楽しい思い出が詰まった1曲です。」そんな仲間たちや家族のサポートを受け、歌手・平原綾香は音楽界でさらに大きく羽ばたいていくことになる。

卓越した歌唱力と音楽性でファンを魅了

2003年のデビュー以来、抜群の歌唱力を誇り活躍の場を広げる平原綾香に、美しい歌声を保つ秘訣を尋ねると「美しい歌声にもいろいろな種類があり、しっかりとコントロールできる喉が私にとって美しい声かなと思います。声をわざとしゃがれさせたり。しゃがれた声でも艶っぽく歌えるのが美しく良い声だと思います。歌手は喉の回りの筋肉を使うので、毎日筋トレのように歌い、こまめに動かさないとナマってしまう。かといって負荷のかけ過ぎはダメ。バランスよく歌い続けることが秘訣でしょうか。だから私は、遊園地に行つて絶叫系のアトラクションに乗っても、なるべく低い声で叫ぶようにしています（笑）。

関東初上陸！フルオーケストラとの豪華共演

豪華フルオーケストラとの共演による今回のコンサートは、中日新聞に連載され好評を得た《平原綾香と開くクラシックの扉》がその出発点。クラシック音楽の魅力と独自の視点で掘り下げた連載記事が大反響を呼んだことを受け、記事の世界をコンサートで再現するプロジェクトが始動。名古屋での初演は大成功を収めた。今回の所沢ミュージズ公演が、このプロジェクトの関東初上陸となる。

平原自身はこのコンサートの魅力を「クラシックの名曲をフルオーケストラでお聴きいただき、私がカバーしているクラシック曲や、オリジナルの楽曲もオーケストラアレンジでお楽しみいただける、様々な要素が詰まった贅沢なコンサートです」と語る。

平原綾香は、クラシック音楽をテーマにしたアルバムをすでに3枚もリリースするほど、ポップス界きってのクラシック音楽通だが、このコンサートはクラシック音楽

の堅苦しさとは無縁。「クラシックという曲を知らない」とコンサートに行きづらいとか、知らないと思ってしまうが、このコンサートはクラシックを知らない人でも楽しめるよう解説もありますので、あまりクラシックを聴いていない人にもこそ来てほしいですね。かしこまらず、楽な気持ちで来ていただけると、さらに楽しめると思います」とのこと。

平原綾香のファンはもちろん、クラシックに詳しい人にもそでない人にも、きっと音楽の新たな魅力との出会いが待っていることだろう！

平原綾香と開くクラシックの扉コンサート2022

2022年1月29日(土) 15:30開場 16:30開演 **好評発売中**

アークホール

料金◆全席指定 S席:¥12,000 A席:¥11,000 B席:¥10,000

曲目◆【第一部演奏予定曲目】
G線上のアリア、カヴァレリア・ルスティカーナ、眠れる森の美女、美しく青きドナウ ほか
【第二部演奏予定曲目】
Jupiter、おひさま〜大切なあなたへ ほか

※未就学児の入場はご遠慮ください。
※新型コロナウイルスの感染状況により出演者の変更や公演中止の可能性もございます。
最新情報は所沢ミュージズの公式ホームページでご確認ください。

Aya meets Orchestra



音楽に囲まれた子ども時代。バレエなどを動かすことも大好きだった。



父の影響で、中学校のブラスバンドでサクソスを始めた。



2003年に「Jupiter」でデビュー。歌手活動と大学の両立に多忙な日々を送る。

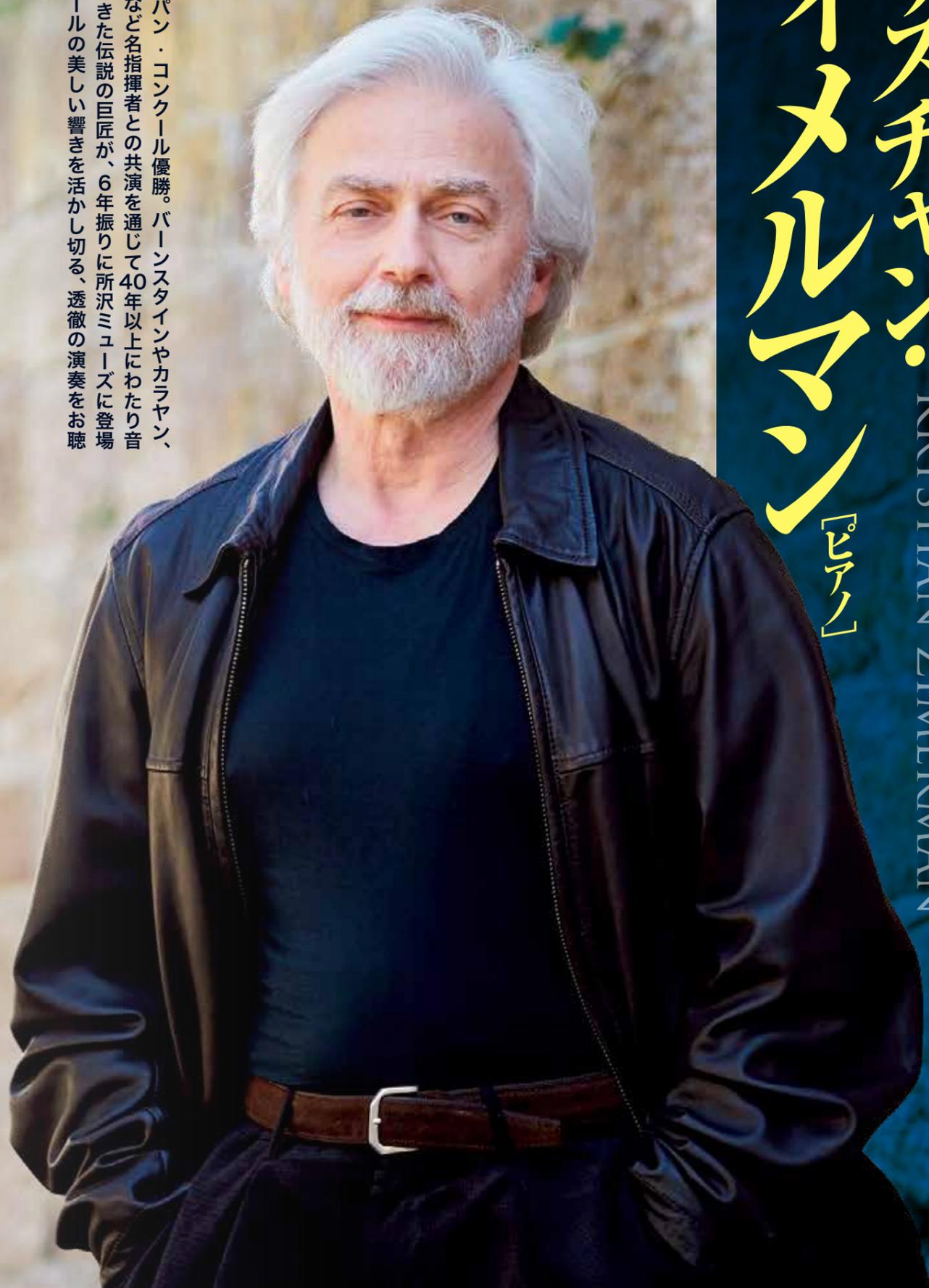


オフの日の気分転換はスケート。親友である荒川静香さんに習ったこともある。

所沢ミューズを愛してやまない伝説の巨匠！

クリスチャン・ツィメルマン [ピアノ]

KRYSZTIAN ZIMERMANN



1975年にシヨパン・コンクール優勝。バーンスタインやカラヤン、小澤征爾、ラトルなど名指揮者との共演を通じて40年以上にわたり音楽界をリードしてきた伝説の巨匠が、6年振りに所沢ミューズに登場する！アークホールの美しい響きを活かし切る、透徹の演奏をお聴きください！

所沢ミューズへの愛

所沢ミューズへの初登場は今から15年前の2006年。モーツァルト、ラヴェル、シヨパンといったプログラムで世界第一級の実力を所沢の聴衆に鮮烈に印象づけた。このとき、ツィメルマンはアークホールの響きの良さや温かい雰囲気を感じ入り、さらに1970年代から30年以上にわたりツィメルマンの公演制作を担った伝説のマネージャーが埼玉県出身だった縁もあり、すぐさま翌2007年のクレールメル「Vn」&ツィメルマン「Pf」による夢のデュオ・リサイタルの所沢公演が決定した。

以来、ツィメルマンは来日のたびに所沢ミューズを公演地として選び、2009年、2010年(シヨパン生誕200年)、2012年(ドビュッシー生誕150年)、2013年(ベートーヴェン後期3大ソナタ)、2015年(オール・シューベルト)と名演奏を重ねてきた。

透徹したこだわり—作品とピアノ

リサイタルに際してツィメルマンが絶対に譲れないのがピアノ選び、そして作品選びである。これはピアニストとして当然といえは当然なのだが、ツィメルマンの場合はほかのピアニストとこだわりの次元が違う。ツィメルマンにとってこの2つは分かち難く結びついており、その作品を演奏するための理想の楽器がなければ演奏する意味はないのだ。ツィメルマンは、長年にわたり音響やピアノのアクションについて科学的な研究を重ねており、自らが調整を手掛けたピアノを世界中に持ち歩き、信頼すべき調律師を同行させてツアーを行う。

ツアー開始までにピアノの調整がうまくいかず、思った響きが得られなければ、予定されていたプログラムは大幅に変更され、ファンや関係者をやきもきさせることもしばしば。所沢ミューズ公演でも、2012年と2015年の公演直前に曲目の大きな変更があり、ファンをざわつかせたが、

これも最高の演奏を届けるために、細部までこだわり抜くツィメルマンの芸術家・音楽家としての真摯な姿勢の表れといえるだろう。

バッハ、ブラームス、シヨパン

長らく「曲目調整中」だった2021年の日本ツアーも、9月下旬ついにプログラムが発表された。J.S. バッハの2つの組曲、ブラームス晩年の小品、シヨパンの最高傑作第3番のソナタと、これ以上の望むべくもない王道のプログラムだ。J.S. バッハの組曲を2つも組み込んだのは、ピアノの原点、音楽の原点に今一度立ち返りたいというツィメルマンの強い思いが感じられる。またブラームス晩年の小品は、還暦を過ぎたツィメルマンがブラームスの晩年と同じ年齢に達し、いよいよこの孤高の作曲家にシンパシーを感じていることを想像させる。そして、シヨパンはポーランド生まれの

ツィメルマンにとっては何ととっても祖国の音楽であり、1975年にシヨパン・コンクールで優勝し国際的なキャリアを築いた自身の原点といえる作曲家。2010年にはシヨパン生誕200年を記念し世界中でツアーを行った(所沢ミューズ公演でも「ソナタ第3番」を取り上げた)が、あれから11年。ツィメルマンにしか成し得ない、輝きと深みに満ちた「ソナタ第3番」を披露してくれるだろう！

クリスチャン・ツィメルマン[ピアノ]

12月4日(土) 16:15開場 17:00開演
アークホール
料金◆全席指定 **好評発売中**
S席¥8,300 A席¥7,300 B席¥6,300
◆メンバーズ特割
S席¥7,000 A席¥6,500 B席¥5,500
曲目◆J.S. バッハ:
パルティータ 第1番 変ロ長調 BWV825
パルティータ 第2番 八短調 BWV826
ブラームス:3つの間奏曲 op.117
シヨパン:ピアノ・ソナタ 第3番 口短調 op.58

※未就学児の入場はご遠慮ください。
※新型コロナウイルスの感染状況により公演中止の可能性がございます。最新情報は所沢ミューズの公式ホームページでご確認ください。



20世紀最大の指揮者レナード・バーンスタインとは長年にわたって共演を重ねた



小澤征爾指揮のボストン交響楽団と共演した、リストのピアノ協奏曲の決定盤



ベルリン・フィルの芸術監督を務めた盟友サイモン・ラトルとも共演を重ね、数々の名演奏を残している



サイモン・ラトル指揮 ロンドン交響楽団と共演した最新盤 ベートーヴェン:ピアノ協奏曲全集

吉田 誠
「クラリネット」



Makoto Yoshida
世界で絶賛を浴びる俊英

ホールオルガニスト

原田真侑

presents

～愛をめぐる音楽たち～

所沢ミュージックが誇る第4代ホールオルガニスト原田真侑。フランスの国際コンクールで目覚ましい成績をおさめた気鋭のオルガニストが繰り出す今回の企画は「愛をめぐる音楽」。国際派のクラリネット奏者、吉田誠をゲストに様々な時代の色彩的な作品をお楽しみいただく。

原田真侑
「オルガン」



Mayu Harada
所沢ミュージック ホールオルガニスト

所沢ミュージックが誇るオルガンは、ウイーンの楽友協会やサントリール・ホール
のオルガンも手掛けるオーストリアの名門リーガー社による名器。75種
の音色と5563本のパイプを有し、バロック時代から近現代の作品ま
で400年にも及ぶ時代の作品を演奏することが可能だ。今回の公演で
も、バロックを代表するバッハの名作、シューマンやフォーレなど19世紀の
ロマン派の音楽、そしてハキム、ルブランといった色彩豊かな現代作品まで
300年を超える多彩な作品をお聴きいただく。とりわけオルガンとクラ
リネットの共演によるハキム「聖母のミントレル」前奏曲とダンス」で
は、リーガー・オルガンの多彩な響きと変幻自在なクラリネットの色彩感が、
作品のチャーミングな魅力を存分に引き出してくれるだろう！

名器リーガーの多彩な音色



名ピアニスト小菅優とブラームスアルバムをソニー
ミュージックからリリースし、絶賛を浴びた

優との共演でブラームスのクラリネット・
ソナタをメインに据えたアルバムをリ
リースし絶賛を浴びるなど、ますます注
目を集めている。オルガンと共演するの
は今回が初めてという吉田誠だが、すで
に原田真侑とプログラムの方向性を決め
るリハーサルを行い、「空気を吹き込む同
じ管楽器同士、響きの融合が心地よい！」
と語るなど、オルガンとの共演に意欲を
みなぎらせている。

原田 真侑 [オルガン] ～愛をめぐる音楽たち～

2月11日 (金・祝) 13:15開場 14:00開演 アークホール
出演者◆原田真侑 [オルガン] 吉田誠 [クラリネット]
料 金◆全席指定 ¥1,500 **メンバーズ特割** ¥1,000

好評発売中



※未就学児の入場はご遠慮ください。
※新型コロナウイルスの感染状況により出演者の変更や公演中止の可能性もございます。
最新情報は所沢ミュージックの公式ホームページでご確認ください。

世界が認める才能 吉田誠

スペシャルゲストは日本のみならずヨー
ロッパでも目覚ましい活躍を繰り広げる
吉田誠。所沢ミュージックでは2015年
と2017年、モーツァルトとベートー
ヴェンの五重奏曲の公演に出演。とりわ
け室内楽での評価が高く、世界の超一流
の奏者から厚い信頼を寄せられている。
2020年11月には、名ピアニスト小菅

- 曲目◆J. S. バッハ：「主よ、人の望みの喜びよ」
J. S. バッハ：前奏曲とフーガ ホ短調 BWV548
シューマン：『ペダルフリーゲルのための練習曲』
作品56 より
フォーレ：アンダンテ（「ロマンス」作品69のオリジナル版）
ハキム：『聖母のミントレル』- 前奏曲とダンス
ルブラン：オルガンのための組曲 作品18
1. メリュジーヌ(蛇女) 2. クリスタルの宮殿
3. トリスタンの狂気 ほか

愛のかたちを音楽で

マルシャル・リテーズ国際オルガンコンクールで審査員特別賞を受賞
し注目を集めた原田真侑。第4代ホールオルガニスト就任後、初とな
るプロデュース・コンサートは「愛をめぐる音楽たち」。直前に迫った
バレンタインデーにちなみ、愛をテーマとした作品を特集する。



作曲家・オルガニストのエリック・ルブランに
はフランスで師事した

近現代のハキムとル
ブランまで実に多彩
な「愛」にまつわる
作品がプログラミン
グされている。選り
すぐりの名作で、所
沢ミュージックのオルガ
ンの壮大な響きを感じ
ていただく！

ステージレポート

Stage Report

8月27日
～10月9日

2021
8/27
(金)

ぱんだウインドオーケストラメンバーによるアンサンブルの作り方

〈アークホール〉
出演/ぱんだウインドオーケストラメンバー
山田和樹 [指揮]
上野耕平 [サクソフォン]



アンサンブルの作り方

9/4
(土)

デア・リング東京オーケストラ 所沢ミュージズ特別公演

〈アークホール〉
出演/廣津留すみれ [ヴァイオリン]
西脇義訓 [指揮]
デア・リング東京オーケストラ
曲目/メンデルスゾーン: ヴァイオリン協奏曲
ブルックナー: 交響曲第7番 (ハース版) ほか



デア・リング東京オーケストラ

11
(土)

LEO 箏ミニライブ

〈グランエミオ所沢 2階ノースプラザ〉
曲目/今野玲央: Deep Blue
半田弘: さくら替手五段
沢井忠夫: 甦る5つの歌 ほか
グランエミオ所沢の1周年を祝うアウトリーチ公演に、様々なメディアから熱い注目を集める箏アーティストLEOが颯爽と登場! 流れるような指さばきから紡ぎ出される華麗な演奏で聴衆を魅了しました。



LEO 箏ミニライブ

16
(木)

劇団四季新作ファミリーミュージカル はじまりの樹の神話 ～こそあどの森の物語～

〈マーキーホール〉



はじまりの樹の神話～こそあどの森の物語～

18
(土)

森麻季 [ソプラノ]

〈アークホール〉
出演/山岸茂人 [ピアノ]
曲目/ラフマニノフ: ヴォカリーズ
サン＝サーンス: アヴェ・マリア
伝承曲: アメイジング・グレイス ほか



森麻季 [ソプラノ]

19
(日)

北村朋幹 [ピアノ] × ジョン・ケージ

〈マーキーホール〉
曲目/プリベアド・ピアノのためのソナタとインターリュード [全曲]
ケージ屈指の名作の全曲演奏。プリベアド・ピアノの癒しに満ちた不思議な音色がマーキーホールに響き渡りました。白石美雪による作品解説やピアニストとの対談、プリベアド・ピアノの見学も大好評でした!



北村朋幹 [ピアノ]

23
(木)

村治佳織 [ギター]

〈アークホール〉
ゲスト/村治奏一 [ギター]
曲目/ルビアー/村治佳織編: 『禁じられた遊び』～<愛のロマンス>
ピアノソ: ブエノスアイレスの冬 ほか



村治佳織 [ギター]

24
(金)

石丸幹二 [歌/語り] × つのだたかし [リュート/ギター]

〈マーキーホール〉
曲目/イギリス民謡: 恋人の黒髪
ピアフ: 愛の讃歌 ほか



石丸幹二 × つのだたかし

26
(日)

希望の響きを所沢に! 《小坂忠 with Friends in 所沢ミュージズ》

〈アークホール〉
出演/小坂忠 BEGIN
宮沢和史 高野寛
Meg & Piano Koji
2020年春に延期され多くのファンが待ちわびた公演をアークホールで開催。音楽界のレジェンド小坂忠のもとにBEGIN、宮沢和史、高野寛といった豪華アーティストが集結。パワフルな歌声で聴衆を魅了! 会場は大きな拍手に包まれました!



小坂忠 with Friends

10/8
(金)

こまつ座 「雨」

〈マーキーホール〉
作/井上ひさし
演出/栗山民也
出演/山西惇 倉科カナ ほか



こまつ座「雨」

9
(土)

第108回所沢寄席 米團治・市馬 東西二人会

〈マーキーホール〉
出演/桂米團治 柳亭市馬
立花家橋之助 ほか



第108回所沢寄席

写真撮影(市民カメラマン)/津田資雄(9/4、9/19、10/9)、由井一雄(9/16、9/24)、佐藤清一郎(9/18)、三平資郎(9/23)

編集後記

最近寒くなってきましたね! 寒い季節はイベントがたくさんあって好きです。中でも1番好きなイベントはクリスマスです。街中がイルミネーションだらけでキラキラしていて、それを見ているだけでワクワクした気持ちになります。ミュージズのイルミネーションもとても綺麗なので見るのが楽しみです。(S)

チケットのお問合せは……ミュージズチケットカウンター

04-2998-7777

●窓口・電話予約10:00～18:00 ※休館日を除く

●インターネット予約

所沢ミュージズ

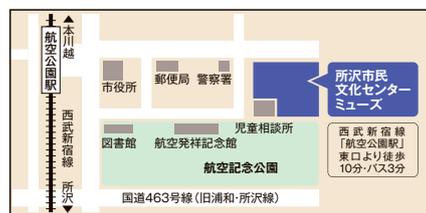
検索



クラシック・ポップラー・演劇・寄席など多彩で魅力溢れる公演を開催しております!

詳細はミュージズホームページでご確認ください。

<https://www.muse-tokorozawa.or.jp>



*公演情報は2021年10月28日現在のものです。曲目・出演者の変更やチケットが売切れとなる場合がございますので、ご了承ください。

今回のインフォ・マートは2022年1月15日発行予定です。どうぞお楽しみに。